

Room tipe A

エアコンを必要とする面積
(カーテンを開けている時)

約 21 m² / 26.7 m²

S = 1/30

... 持ち込み家具

Point 2

- できるだけ壁を作らない -

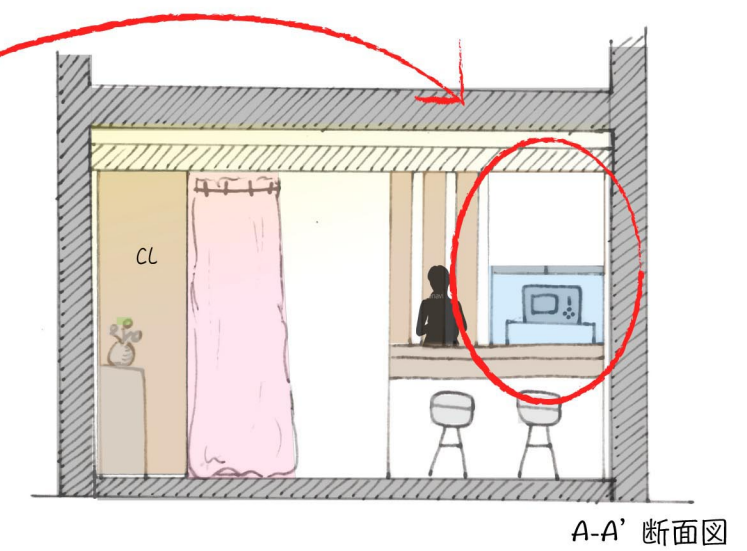
空間を壁で仕切るのではなく
カーテンで仕切ることで圧迫感を感じさせない

自分好みの色に合わせて
コーディネートを楽しめる

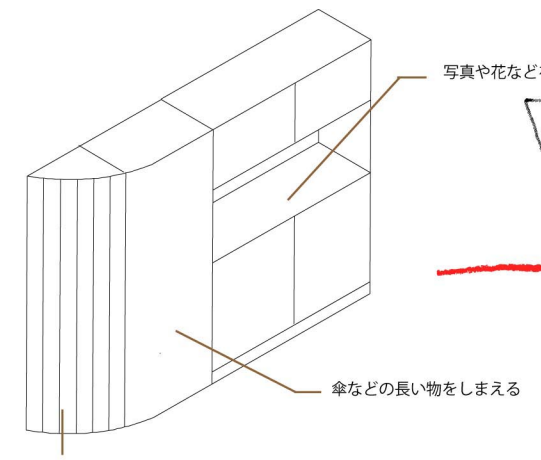
検討；耐熱ガラスにするか壁で覆うか



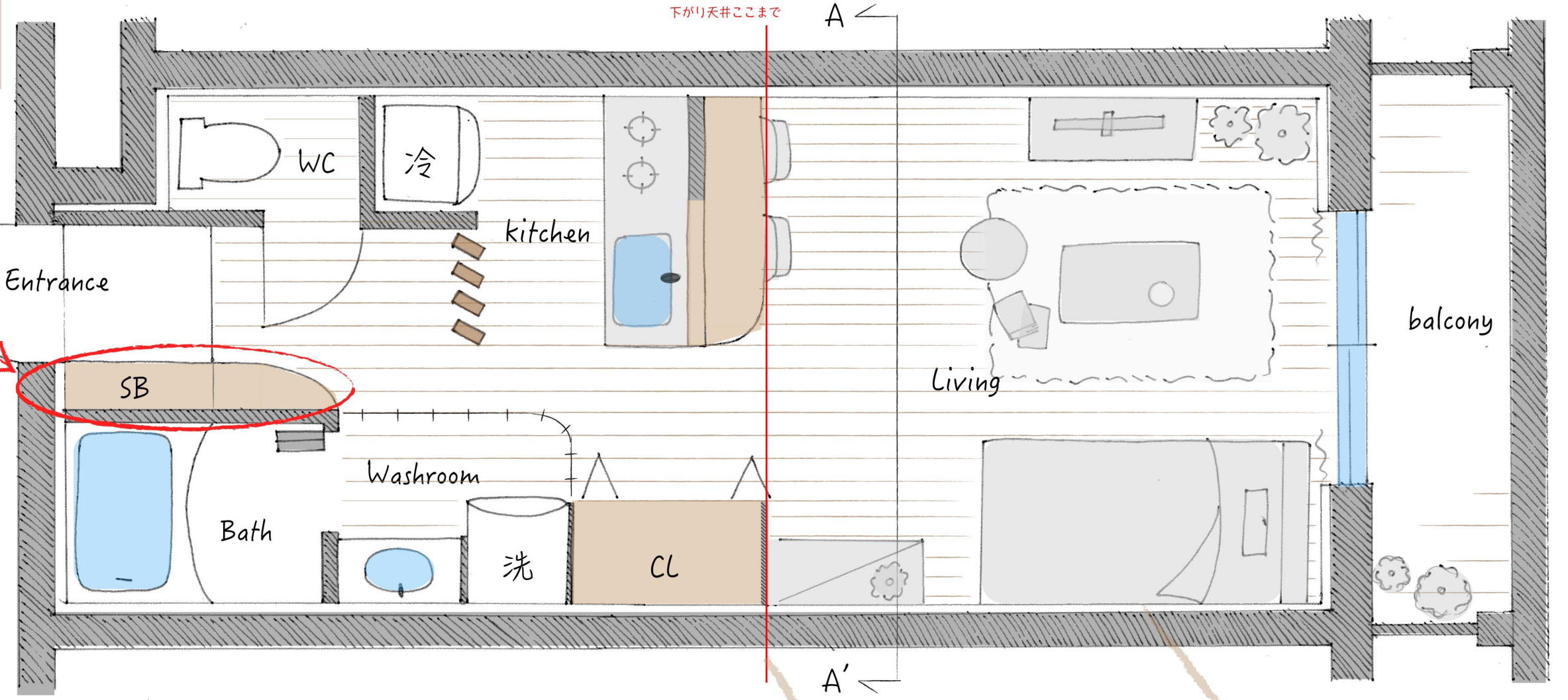
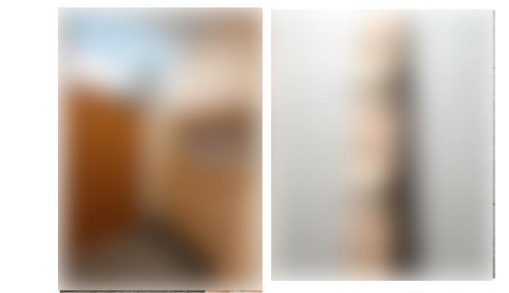
壁が必要なキッチンの換気扇部分は、全体を壁で隠すのではなく強化耐熱ガラスを使うことで開放感を維持できる



検討；靴箱のデザインについて



端に少しだけ丸みを持たせ、他は全て収納スペースに
曲線部分にはワイヤーなどをつけ簡単なスリッパラックを作る



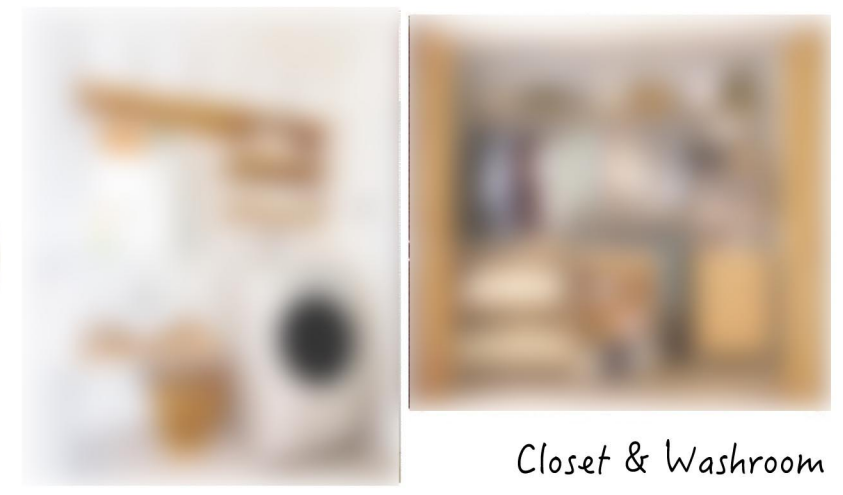
Point 1

- 3つのR -

シューズボックス、カーテンレール、カウンター
この3つの角を丸めることでデザインに共通性をもたらす

↓

全体的に柔らかい空間



Point 3

- 間接照明 -

下がり天井を伸ばした部分に
間接照明を仕込む

間接照明の優しい光が加わることで
さらに柔らかい空間を演出

Point 4

- アクセントウォール -

ライフスタイルの異なる様々な入居者に
対応できるように壁の一部をアクセントウォールに

何種類かの色から住む人が選べるようにすることで
自分らしさを表現できる